

一般社団法人四番隊  
第2期 事業報告書  
2023年度(2023年8月1日～2024年7月31日)

1. 緊急支援事業

**【継続】茨城県取手市における非常災害等の支援**

令和5年6月4日に発生した線状降水帯の影響による水害で茨城県取手市双葉地区は床上床下含め約600件の浸水被害が発生。ニーズ調査、現地調査、ボランティアのコーディネート、スタッフの常駐、被災者の送迎、家屋片付け、床剥し、泥出し、壁剥し、消毒、復旧作業を実施。



※公益財団法人 JKA 2023 年度 非常災害等の支援 補助事業

活動時期:6月4日～9月8日(10月以降も定期的に作業実施)

**【新規】千葉県茂原市における豪雨災害等の支援**

令和5年9月台風13号の接近に伴う大雨による水害で、床上浸水は206件、床下浸水は84件の被害が発生。ニーズ調査、現地調査、浸水被害を受けた家屋の床下の泥出し、清掃、消毒作業を実施。



活動時期:10月1日～12月2日

### 【新規／継続】令和6年能登半島地震における緊急支援および災害支援

令和6年1月1日に発生した令和6年能登半島地震において、発災直後、石川県へ支援物資の輸送を実施。門前町浦上地区の避難所にスターリンクを設置し、通信環境を可能にした。



また新潟県新潟市西区での液状化被害が顕著であるものの、多くのボランティアが能登半島に集中しており、新潟市では泥撤去のための床の開口作業や床下内部での作業といった技術的な支援が不足し支援活動の展開が滞っていた。被災地の復旧に必要な技術的なサポートとボランティアの育成をも図った。

※公益財団法人 JKA 2023 年度 非常災害等の支援(緊急支援) 補助事業

1月13日～3月10日 新潟県新潟市にて活動

3月11日～石川県で活動

石川県七尾市にて被災家屋からの家財搬出、災害ゴミ・災害建築廃材の搬送作業を実施。ブロック塀の解体や瓦礫撤去、屋根の養生作業等の実施、継続して事業を実施する。



活動時期:1月2日～現在も継続して作業実施中

## 2. 防災事業

### 【新規／継続】「もしもフェス渋谷 2023」

令和5年9月2日～3日に東京都渋谷区、代々木公園にて開催された防災・減災イベント「もしもフェス渋谷 2023」に出展。プルージック体験、アシスト瓦作り、瓦屋根の模型展示など親子で楽しめるボランティア体験ブースを展開。

### **【新規／継続】「キッズ防災プロジェクト」**

災害時、何ができて何ができないのか、子ども達と一緒に考える体験型ワークショップ開催。

6月から10月かけて、千葉県内6市町にてキッズ防災プロジェクトを実施。スライドを用いて「災害と防災について考える」をテーマに千葉県で過去に起こった自然災害の説明。地震や台風被害などを写真や動画を見て、災害が発生した時にできなくなることを一緒に考えて子供たちに発表してもらった。また、防災として備えておくべきものや避難の時に気を付けることを伝えた。また、子供たちが飽きないように人形劇を用意、被災地で活動しているボランティアの人たちがどのような活動をしているかを紹介。そして、クイズ形式で自分たち子供ができることできないことを考えてもらい、災害発生時の知識や防災の意識向上を図った。

6/17(土)君津市 プレイベント

ボランティア人数 5名、参加者 7名

7/2(日)多古町 @多古町コミュニティプラザ 共催:多古町社会福祉協議会

ボランティア人数 7名、参加者 13名

7/15(土)袖ヶ浦市 @袖ヶ浦市民会館 共催:ガウラこども食堂

ボランティア人数 2名、参加者 11名

7/21(金)鋸南町 @鋸南幼稚園夕涼み会防災教育 共催:鋸南幼稚園

ボランティア人数 5名、参加者約 100名

8/26(土)一宮町 @一宮町中央公民館 共催:一宮社会福祉協議会

ボランティア人数 7名、参加者 23名

9/16(土)袖ヶ浦市 @袖ヶ浦市民会館 共催:ガウラこども食堂

ボランティア人数 5名、参加者 18名

10/8(日)富津市 2回開催 @富津公民館多目的ホール 共催:富津市

ボランティア人数 7名、参加者 午前 13名／午後 16名

※公益財団法人 ちばのWA 地域づくり基金 補助事業

### **【新規】「ぼうさいこくたい 2023」**

令和5年9月17日～18日に横浜国立大学にて開催された防災・減災イベント「ぼうさいこくたい 2023」に出展。ブルージック体験、アシスト瓦作り、瓦屋根の模型展示など親子で楽しめるボランティア体験ブースを展開。

### **【新規】ボランティア技術指導および安全教育「災害支援者安全管理講習」**

基本的な作業手順や使用する道具の正しい扱い方を教えるとともに、ボランティアリーダーを育てるため安全対策に関する教育を実施。作業開始前には手順の確認を行い、問題が発生した際の対応方法も指導。



## 中央労働災害防止協会認定講師による 災害支援者安全管理講習

職長・安全衛生責任者教育  
講習終了後に修了証を発行します

●●●

どんなに優れた技術を持っていても  
安全管理ができていなければ意味がありません  
会員を危険から守る  
それができて初めて頼れるリーダーになれます

**安全管理 危険予知 リスクアセスメント**

開催日	2024年2月24日(土)～25日(日) (講習は2日間です)
締切	2024年2月21日
定員	25名 先着順ですので締切前に定員となる場合がございます
対象	・災害支援に興味がある方 ・災害支援をしている方
時間	9:00～17:00 休憩あり
受講料	2,000円(テキスト代込み)
開催場所	新潟県新潟市西区小針1丁目38-22 小針1丁目自治会館 ※駐車場はございませんので近隣のコインパーキングをご利用ください 証明写真紙3cm×横2cm 筆記用具




主催 / 一般社団法人四番隊  
協力 / 新潟市西区社会福祉協議会  
協力 / 小針1丁目自治会  
協力 / 新潟八野会

**応募先** こちらのQRコード又は下記のURLから専用応募フォームにて申込をお願いいたします。

[HTTPS://FORMS.GLE/SAXSDAIFG9UTQRIA](https://forms.gle/SAXSDAIFG9UTQRIA)





### 3. SDGs事業

#### 【新規／継続】ターポリン再生プロジェクト

イベントなどで使用される横断幕「ターポリン」を災害支援現場の養生資材として再利用、その後バッグや財布、名刺ケースなどにアップサイクル、廃棄物に命を吹き込み、多くの思い出を記念品に生まれ変わらせた。

#### ターポリン再生プロジェクト



実際に「もしもFES渋谷」 「SOCIAL INNOVATION WEEK SHIBUYA」 実行委員会のご協力によりターポリンが各地の災害支援活動に活用されました。

イベント等で使用される横断幕「ターポリン」期間中が終わると用済みになり、多くは不燃ごみとして廃棄されてしまいます。

そんなターポリンを寄付していただき災害支援を現場にて「養生」資材として再利用。イベントと被災地を繋ぐ架け橋に。

活用されたターポリンはさらなるアップサイクルへ。生地を活かしたバッグ・財布・名刺ケース・ぬいぐるみなどに生まれ変わります。

多くの思い出を経た記念品として廃棄物となるはずだったターポリンに新たな命を吹き込む地球にも優しいSDGsな取り組みです。

